

ポローニア

ポローニアは県花「桐」の学名です。

第50号

2023-7

令和5年7月3日発行

発行／岩手県高等学校PTA連合会

【事務局】盛岡市上田三丁目2-1 TEL(019)625-6386

E-mail iwa-koupren@aroma.ocn.ne.jp FAX(019)613-7795

令和5年度 県高P連 定期総会・研究協議会開催



▲川上新会長挨拶



▲大柏前会長挨拶

令和5年度の岩手県高等学校PTA連合会(以下、県高P連)定期総会および研究協議会は、6月7日にサンセール盛岡にて開催されました。県内66校から会長や校長を含む217名が出席。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられてから初めての定期総会となり、換気や手指の消毒など基本的な対策を講じながら多くの参加者が集まりました。

総会では94名が個人表彰され、令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰を住田高校が、令和4年度岩手県教育表彰を花巻南高校が受賞したほか、県高P連第27回広報誌コンクール最優秀賞には盛岡北高校が輝いたことなどが報告されました。また令和5年度の県高P連会長には、盛岡第一高校の川上博基氏が就任し、前会長である大柏良氏へ感謝状を手渡しました。大柏前会長からは「今後も県高P連の活動に関わっていきたい」と心強い挨拶があり、川上会長からは「感染症に関して油断はできないが、子どもたちのためにでき



▲総会の様子

ることをしていきたい」と抱負が語られました。議事においては、会務報告や各委員会の活動報告、一般会計収支決算のほか、第71回東北地区高P連盛岡大会に関する報告などが行われました。これまで検討を重ねてきた母親委員会については、健全育成委員会と統合した上で活動を継続することが決定。ただし各単位PTAや地区における母親委員会については、それぞれの判断を尊重する方針です。それ以外の会則および委員会規定についても、現在の状況に合った内容に改正することが提案され、全ての議案が出席者の賛同を得て承認されました。

総会後の研究協議では「自転車の安全利用について」と題し、岩手県復興防災部消防安全課の今村主査および岩手県警察本部分野課交通企画課の岩野課長補佐より、それぞれ講義をしていただきました。今村主査は今年4月に施行された「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」について解説。昨年、県が行った自転車利用に関するアンケート



▲表彰状・水沢工業 小野寺氏

トでは、半数以上が「交通ルールを知っているが守っていない」と回答したことを踏まえ、「自転車も車両である」と認識し、交通ルールを守ることに大切。自転車に関する保険は自動車保険や火災保険などに含まれていることがあるため、この機会に確認してほしい」と伝えました。また岩野課長補佐は、県内の自転車事故の中で高校生の割合が最も高く、自転車側の安全不確認や一時不停止が原因となることが多いと説明。人間の脳とほぼ同じ固さである木綿豆腐をヘルメットに入れて落とす実験を行い、その崩れにくさを踏まえてヘルメット着用の重要性を訴えました。

この日の締めくくりには懇談会もあり、県高教組の柳田書記長による乾杯の後、終始和やかな雰囲気で行われました。



▲懇談会の様子



▲研究協議・今村氏



▲研究協議・岩野氏

長くウナギの研究を続けてきた青山氏は、2014年に大槌沿岸センターに着任。東日本大震災の爪痕が色濃く残る街で、子どもたちと海の間溝が生じていると感じました。そこで同氏はほかの研究所と連携し、海の希望と学校in三陸をスタート。今も地域と深く関わりながら、海の地位を向上させ



講師 青山 潤氏 (東京大学大気海洋研究所 所教授・大槌沿岸センター長)

「講演」 演題『海と希望の学校』 ～東京大学大気海洋研究所の挑戦～ せるべく三陸のローカルアイデンティティの再構築を行っています。さらに講演では、大槌高校の「はま研究会」も紹介。これは同校生徒の有志が参加していて、大槌沿岸センターでの手伝いやフィールドワーク、成果発表などを行うものです。同校の継枝校長からは「研究会に参加することで、生徒に良い変化の兆しが見えている」との声があり、青山氏は「子どもたちが海への誇りを取り戻し、将来的に地域が海とともに元気になることが目標」と語りました

がんばる岩手

岩手県立一戸高等学校PTA会長 佐藤 佳子



希望に
向かって

長を務めさせて頂くことになりました。佐藤佳子と申します。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、思うような活動ができなかった3年間。そのような中でも大会や学校行事等、何とか行われてきました。この3年間は、以前は当たり前だったことが、当たり前に行えない状況を経験し、人との繋がりの大切さを再確認しました。出来る人が出来る事を出来る範囲で、活動してきました。去る5月8日、新型コロナウイルス感染症は第5類に移行し、地域や学校行事等、コロナ禍以前の活動に徐々に戻りつつあります。令和6年度には、福岡工業高校との統合を控えており新たなステージへと進みます。

学校、生徒、地域、保護者が知恵を出し合い協力し合いながら、色々なことにチャレンジしていけたらいいな！と思います。皆さんのご意見を伺いながら、活動していきますので、これからもご理解ご協力をよろしくお願い致します。



▲昨年度 登校時一声運動の様子

を伺いながら、活動していきますので、これからもご理解ご協力をよろしくお願い致します。

岩手県学生会館入寮生募集

～初めての東京生活を支える安心の寮生活～



【会館施設概要】

●所在地
〒171-0043
東京都豊島区要町
2-5-5
JR池袋駅まで徒歩15分、東京メトロ要町駅 徒歩5分

- 資格
岩手県出身者で大学院、大学、短期大学、専門学校等に通学する人
 - 寮費 月額80,000円(朝夕2食)、入寮時費用 10万円(令和5年度の場合)
 - 室内 洋室13.5㎡(全室個室)
 - 設備 机、本棚、ベッド、クローゼット、洗面化粧台、冷暖房器等
- 【申し込み・問い合わせ】
公益財団法人 岩手県学生援護会(岩手県学生会館内)
TEL:03-3972-4783
※募集要項、申込書類はホームページから
<http://www.gakuseikaikan-iwate.or.jp/>

請求なければ支払いなし

(一社)全国高P連賠償責任補償制度

PTA単位で加入する制度で発足後22年目となりました。

令和5年6月現在

〈加入状況〉

全国 2,286校 1,175,552人(暫定数)
岩手県 67校 22,077人

〈事故の際は〉

全国高P連賠償責任補償制度事故受付電話
0120-720-110 (24時間365日受付)

岩手県高P連高校生総合保障制度

〈加入状況〉令和5年5月10日現在 2,501人
Aプラン(病気補償あり) 62校 1,392人
Bプラン(病気補償なし) 54校 533人
Cプラン(自転車重点型) 56校 576人

〈お問い合わせ〉AIG損害保険株式会社盛岡支店
TEL 019-651-0584

私自身PTA活動については素人同然であり、これから頑張る勉強しますとしか言いようがなく、経験豊富な事務局長のご指導のもと、基本的に副会長の皆様、理事の皆様にお任せするしかありませんが、とにかく明るく楽しく参加しやすい雰囲気を作りたいと考えています。親として、子ども達のために何が出来るかを、先生方や皆さんと一緒に考えていきたいと思っていますので、これから2年間どうぞよろしく願います。

趣味は野球(職場、地区OB、高校OBの3チームに所属)、マラソン(フルマラソン完走3回、リタイア3回と二進一退の繰り返し)、ゴルフ(ベストスコア84ですが、最近は一〇〇前後に低迷しています)の三刀流ですが、どれも中途半端になっていることが悩みの種です。運動以外ではナポリタンの食べ歩きにもまっています。

子どもは娘2人です。大学3年の長女はミュージカルサークルの活動に命をかけて、高校2年の二女は合唱部の活動に命をかけています。子育ては妻に任せきりで、「映画とカラオケだけはパパと行く」という決まりはあったのですが、高校生になると自分で映画やカラオケに行くことが出来ますので、娘達と関わる機会は激減している状況です。

みなさま、はじめまして。このたび岩手県高等学校PTA連合会の会長に就任することになりました。川上博基(かわかみひろき)と申します(昭和42年生、今年56歳)。



会長就任のご挨拶

岩手県高P連会長
川上 博基

「知恵と工夫」の活動をめざして!

岩手県立遠野高等学校
PTA会長

谷地 信弥



▲マナーアップ運動の様子

本校のPTAは、生活・厚生委員、広報委員会、母親委員会の3つの専門委員会が活動しています。生活・厚生委員会では、年3回行われるマナーアップ運動に合わせ挨拶運動を実施し、広報委員会では年2回PTA会報の編集・発行に携わり、母親委員会は体育祭や文化祭等で生徒への豚汁提供や

本校は令和3年度に創立120周年を迎えた県内屈指の歴史と伝統を誇る学校です。校訓「修徳尚武」、校是「師弟一如」のもと、現在301名の生徒が学校生活を送っています。生徒は、遠野市内のみならず、花巻市や北上市、遠くは久慈市や一関市、そして神奈川県からも集まり、勉学と部活動に励み、進路も四年制大学・短期大学・専門学校・公務員・民間就職と多岐にわたる進路実現を目指し、皆頑張っています。

本校のPTAは、生活・厚生委員、広報委員会、母親委員会の3つの専門委員会が活動しています。生活・厚生委員会では、年3回行われるマナーアップ運動に合わせ挨拶運動を実施し、広報委員会では年2回PTA会報の編集・発行に携わり、母親委員会は体育祭や文化祭等で生徒への豚汁提供や



▲文化祭でのPTAによる餅撒き



▲ものづくり企業見学会への参加

今後PTA活動の本格的な再開を、学校と保護者が連携しながら進めていきたいと考えています。PTA活動は、保護者の皆さんが実際に学校へ足を運び、学校の様子を知り、高校生活がより充実したものになるよう支援を行える活動だと感じています。会員の皆さんのご協力をいただきながら、より良いPTA活動が出来るよう頑張つて参ります。

水工におけるPTA活動の報告

岩手県立水沢工業高等学校
PTA会長

阿部 一憲



当初の計画では9月初旬に行う予定でしたが、コロナ禍の影響により2か月後の11月初旬に変更して開催しました。保護者と教職員の合計15名が参加して、思い思いの器を創りました。お母さん

本校は、機械科、電気科、設備システム科、インテリア科の4学科を有し、朝学習を学校全体で取り組み、資格取得に力を入れている工業高校です。今年創立56年目を迎え、県内の中堅工業高校として、管内・県内はもとより全国へ工業技術者の育成に教育活動を行っております。



▲陶芸教室参加者一同



▲陶芸教室の作品

と一緒に参加された小さなお子様も素晴らしい作品を作り上げて、2時間の作業後には、皆様の充実した晴れやかな表情が印象的でした。例年ですと作品は水工祭で展示するのですが、今年度は校長室に飾りました。ご指導くださいました朝倉先生は、熱心に丁寧に教えてくださるのに参加者からの評判も高く、ぜひ今年度もお願したいと考えています。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されることにより、これまでの制限が緩和されて、コロナ前のような活動が復活できると思います。新しい様子を積極的に取り入れながら、学校と連携を取って生徒の高校生活がより充実し、併せて多くの保護者の皆さんが楽しく参加できる企画を作っていきたいと考えています。

編集後記

今年度、第1回の会報をお届けします。調査広報委員会では、今年度も皆様のPTA活動に役立つよう誌面作りを努めますので、よろしくお願いたします。

さて、各校では、4年ぶりに通常のPTA活動が計画・実施されていることと思います。私の子どもが通っている高校でも、5月に対面でPTA総会を開催しました。総会后、吹奏楽部・音楽部・太鼓道場部によるミニコンサートが行われ、間近で観賞することができました。オンラインでは感じる事ができないライブの空気感や迫力があり、ようやくコロナ禍前の日常が戻ってきたと感じました。

子どもが高校生になり、成長を頼もしく感じると同時に、親離れしていく寂しさも少し感じます。PTA活動では、家庭では見ることができない子どもの違つた一面を見ることが出来ますし、会う機会が少ない先生方や保護者同士の親睦を図る楽しさもあります。この会報をご覧の皆様には、ぜひ(忙しい方はなるべく)ご参加いただき、それぞれの高校でPTA活動を盛り上げていただきたいと思っています。

最後に、ご多忙のところご寄稿いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。調査広報副委員長・岩淵 良久

〈編集委員〉令和5年度調査広報委員会

- 委員長 千葉 栄生(千厩高校)
- 副委員長 岩淵 良久(一関第二高校)
- 委員 市川 清志(花北青雲高校)
- 佐々木真吾(釜石商工高校)
- 千葉 利行(伊保内高校)
- 山本 憲(千厩高校)
- 佐藤 尚(県高P連)
- 木村 智子(県高P連)

◇事務局

- 佐藤 尚(県高P連)
- 木村 智子(県高P連)